

令和 2 年 度
予 算 の 概 要

多 摩 市



健幸都市



～分かりやすい予算をめざして～

市ではさまざまな事業を行っています。

事業は計画的に、また、入ってくる収入の範囲内で行う必要があります。その計画書が「予算書」です。

予算は、どのような事業を行うかの計画であり、
また、その資金を調達し、事業計画を実行するために
必要となる経費の支出計画でもあります。

この 3 つの計画内容を一体として、「歳入」「歳出」という形でお金で表し、
とりまとめたものが予算です。

この冊子は、予算をできるだけ分かりやすくお伝えするために作成しました。

「財政」や「予算」というと、わかりにくいイメージがありますが、少しでも
関心を持って読んでいただければ幸いです。

※ 予算から決算の流れについては、22 ページのコラムをご参照ください。

学習に来た「こぐま」です。
いろいろ教えてね。



案内の財政課職員、
多摩の熊「たくま」です。
どうぞよろしく。



毎年、小・中学生のみなさんが、税や予算のことを調べて学習しています。
今日はその代表として、こぐまさんと一緒に学習していきます。

令和2年度の多摩市の予算は

予算編成にあたって

令和2年度は、今年度スタートした第五次多摩市総合計画第3期基本計画の2年目となります。「健幸まちづくりのさらなる推進」を基盤となる考え方に置き、3つの重点課題である「超高齢社会への挑戦」「若者世代・子育て世代が幸せに暮らせるまちの基盤づくり」「市民・地域と行政との新たな協働のしくみづくり」の解決に向けて歩みを進めていく年度となります。

また、近年多発する豪雨などによる風水害や今後発生が予想される大規模地震にも備えた安全で安心なまちづくりの推進、ニュータウン再生の着実な進捗、地球温暖化対策など、ハード・ソフト両面での取り組みを継続して行っていく必要があります。

市民生活のセーフティネットなど行政としての基礎的な役割を確実に果たしつつも、行財政改革の推進による効率的な行財政運営を行い、健全な財政基盤を堅持するため、以下を基本的な考え方として予算編成を行いました。

1 健幸まちづくりのさらなる推進

第五次多摩市総合計画第3期基本計画の「基盤となる考え方」である、「健幸まちづくりのさらなる推進」の具体的な取り組みを進め、3つの重点課題であるの解決に向けて各部署が主体的に健幸まちづくりに取り組み、かつ、部署横断的な連携を行う。

2 東京2020オリンピック・パラリンピック競技大会を契機とした取り組みの推進

東京2020オリンピック競技大会において、本市は都内最長 11.8km の自転車競技ロードレースのコースとなっている。オリンピック競技に直接関わる貴重な機会となるため、競技開催の確実な成功に向けた準備を進めるとともに、パラリンピックも含めて、市民との連携による気運醸成など全市を挙げた取り組みを推進する。また、大会を契機としたレガシー創出に向けた取り組みを進める。

3 新しい時代に向けた価値の創造

本市は、令和3年度に市制施行50周年を迎えることとなる。また、今後数年間はパルテノン多摩の改修工事、中央図書館建設工事の他、施設や都市基盤の整備・改修事業が数多く見込まれ、まちの姿が大きく変わっていくことが想定される。この機会を今までにないまちづくりの大きな転換点ととらえ、未来への投資として新たな時代に向けた価値の創造を図り、市の持続的な成長に資する施策を積極的に展開していく。

4 持続可能な行財政運営に向けた取り組みの推進

将来の世代に負担を先送りせず、時代の変化に柔軟に対応していける「持続可能な質の高い行財政運営」確立のため、「行財政運営手法の転換」、「都市基盤を含む公共施設等のマネジメント」、「内部改革の推進」の取り組みを、市民と協働しながら全庁一丸となって着実に進める。

令和2年度一般会計予算においては、歳入では要である市税の増加や、消費税率の引き上げ及び暦の関係から地方消費税交付金が大幅に増加した一方、歳出では普通建設事業費が増加したほか、人件費、扶助費、公債費の義務的経費などが増加しました。

予算総額では、一般会計で590億7,000万円（前年比較+24億9,000万円）、3つの特別会計を合わせた総額は894億1,143万円（前年比較+29億1,430万円）となりました。

第1章 市民の予算

「予算」ってわかりにくい？ 多摩市ってどんなことにお金を使ってるの？
財政状況はどうなっているの？ 他の自治体と比べるとどうなの？
第1章では、そのような視点から、やさしく令和2年度予算について解説します。

I 使い方から見てみよう（歳出）

1 多摩市はこんなまち ～納めていただいた税金の使いみち～	7
2 第五次多摩市総合計画第3期基本計画の3つの重点課題に対する取組	10
3 「健幸まちづくりのさらなる推進」 ～令和2年度予算案～	11
4 市民1人当たりのサービスは？ ～ひとり39万7千円 その内容～	12
5 市民1人当たりの税金の使い道は？ ～ひとり19万4千円 その使い道～	13
〔コラム〕寄附金による市民協働	14

II 使う予算の資金はどこからくるの（歳入）

収入の状況	15
-------	----

III 予算の移り変わり多摩市の状況

1 貯金の状況	16
〔コラム〕財政調整基金と決算剰余金	16
2 借金と分割払いの現在高	17
3 財政の硬直化 ～ケイジョウシュウシヒリツって？～	18
4 収入に占める借入金の割合 ～コウサイヒフタンヒリツって？～	19
5 社会保障関係予算 ～市民の生活を保障する予算は～	20

第2章 令和2年度予算の全体像（資料編）

令和2年度の多摩市の予算の特徴、過去との比較など、専門的なことも含め、詳しいグラフや表などによる予算資料です。

I 会計別予算について

	22
〔コラム〕予算と決算について	22

II 一般会計予算について

款別予算額【歳入】	24
◆都市計画税の収入見込額と充当事業、基金積立の状況	28
◆東日本大震災を踏まえた市民税均等割引上げの収入見込額と充当事業	29

◆引上げ分の地方消費税交付金が充てられる社会保障 4 経費その他社会保障施策に要する経費	30
〔コラム〕 森林環境譲与税のつかいみち	31
款別予算額【歳出】	32
性質別予算額【歳出】	37
◆性質別予算額 3ケ年の変化	40
◆款別（目的別）予算額 3ケ年の変化	40
◆市税収入と義務的経費、投資的経費の推移	41
経常収支比率	42
基金の状況	43
地方債・債務負担行為の状況	44

Ⅲ 新規・レベルアップや普通建設事業などの概要

02 総務費	45
03 民生費	46
04 衛生費	46
05 労働費	47
06 農林業費	47
07 商工費	47
08 土木費	47
09 消防費	47
10 教育費	48
複数の所管課にまたがる取り組み	48
特別会計	48
公営企業会計	49

Ⅳ 特別会計・公営企業会計

国民健康保険特別会計	50
介護保険特別会計	51
後期高齢者医療特別会計	51
下水道事業会計	52

Ⅴ その他

新たな支え合いの仕組みづくり	53
支え合いによる主な事業と事業費 ～令和2年度の取り組み～	54
令和2年度協働指定委託事業一覧（当初予算）	55
令和2年度予算編成方針（通達）	57

第1章 市民の予算

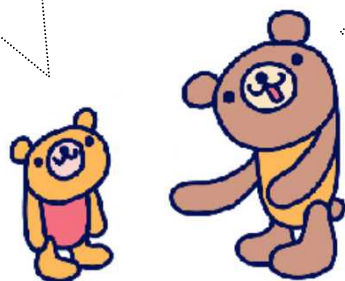
「予算」ってわかりにくい？ 多摩市ってどんなことにお金を使ってるの？

財政状況はどうなっているの？

第1章では、そのような視点から、やさしく令和2年度予算について解説します。

まちづくりは、市の予算だけでしているのではないよね。

ぼくのおかあさんは、地域の子どもサッカーのコーチをしているよ。
強いんだよ。
ぼくも高校生のおねえちゃんも、
まちのおまつりを手伝って小さい子の世話をしてるんだよ！



そのとおりですね。

ただ、予算は、
「みんなが出し合った大事なお金を、
こんなまちにするために使いたい」
という願いが込められています。

予算から市を知るのもやっぱり大切ですね。

I 使い方から見てみよう（歳出）

1 多摩市はこんなまち ～納めていただいた税金の使いみち～

「どんな分野にどう予算が使われているか」が分かれば、多摩市がどんなまちか、見えてきます。ここでは、各分野の取り組みについて、どのような予算が編成されたのかみてみましょう。

子ども青少年

121億4,500万円

・待機児童対策として、認可保育所2園を大規模改修し、1園を移転新設し保育定員を拡大する。他3園でも定員の拡大及び確保を行う。また令和2年度は聖蹟桜ヶ丘駅周辺で認可保育所2園開設するため、定員が拡大される。〔10億2,341万円〕

・子どもショートステイ事業について体験発表会を開催し、事業の理解促進に努め、養育協力家庭の増加を目指す。〔11万円〕

・学童クラブの待機児童対策として、（仮称）東寺方小学童クラブ第三を整備する。なお令和2年度は（仮称）貝取小学童クラブ・（仮称）南鶴牧小学童クラブ第二をオープンする。〔1億4,748万円〕

・（仮称）多摩市版子育て世代包括支援センター事業を開始するにあたり、地域子育て支援拠点に心理相談員・作業療法士の派遣、LINEでの妊娠・出産・子育てに関する情報の配信などを行う。〔287万円〕

・子ども・若者の健やかな育成や円滑な社会生活の営みをするための支援を行い、明るい未来を切り開いていけるための（仮称）多摩市子ども・若者総合支援条例の検討を行う。〔382万円〕



健康福祉

166億3,500万円

・「受動喫煙防止重点区域」を中心に見回り指導員を配置し、禁煙区域内で喫煙者に啓発・指導等を行う。〔235万円〕

・令和2年度中に76歳となる市民を対象に認知症のセルフチェックを実施し、その結果、認知機能の低下の疑いのある方を対象に医療機関での相談を実施し、認知症の早期発見・早期対応を行う。〔295万円〕

・高齢者の口腔機能低下防止の取り組みとして、口腔機能評価等の歯科健康診査を行う。健診結果は、関係所管と連携し、必要に応じ医療へ繋げるなど適切な管理と動機付けを行う。〔1,008万円〕

・働き盛り世代の健康と幸せを実現するため、働き方改革を進める地元企業と（仮称）健幸！ワーク宣言を行い、市と企業との働き方改革への取組を発表し、併せて、有識者からの講演を行う。〔26万円〕

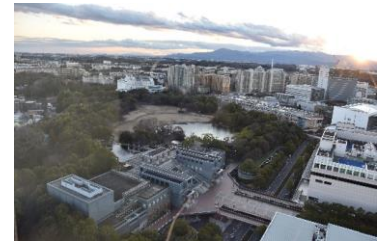
文化・スポーツ

37億2,700万円

・複合文化施設の大規模改修工事を行い、令和4年3月のプレオープンを目指す。

(継続費：令和元年度～3年度)〔17億3,730万円〕

・令和元年度に行った多摩市立複合文化施設等管理運営計画策定委員会の議論の結果を踏まえ、平成21年度に策定した文化芸術振興方針の見直しについて令和2年度に検討委員会を開催し議論を進めていく。〔130万円〕



・ホストタウンとしてアイスランド共和国の選手団を受け入れる。また、台湾バドミントン選手団の受け入れ等を実施する。聖火リレーや自転車競技ロードレース、コミュニティライブサイト、市ゆかりの選手応援事業等を実施する。〔1億2,922万円〕

・温水プールの大規模改修工事を行う。〔4億1,800万円〕

環境

38億700万円

・近年の気候危機について、市民・行政・事業者ともに共通の認識を持ち、危機意識を醸成していくため、気候非常事態宣言を行い、みどりと環境基本計画の改訂と合わせ、具体的な取り組みを検討、実施していきます。〔220万円〕

・特定外来生物であるアライグマ及び重点対策外来種であるハクビシンの捕獲駆除を目的として箱わなを貸し出す。〔60万円〕

まちづくり

19億5,400万円

・愛宕、貝取、豊ヶ丘地区等を対象として、諏訪、永山地区に続くまちづくり計画の検討を行う。〔704万円〕

・公園長寿命化計画に基づき、愛宕、関戸地区の街区公園の改修工事及び、落合、和田地区の設計等を行う。

多摩中央公園の改修や、その後の管理運営への公民連携手法導入に向けて、条件整理等を行い、事業者の公募を行う。〔8,790万円〕

防犯・防災

21億9,900万円

・消防団に夜間活動時の電源確保用発電機やチェーンソー操作時の防護用作業ズボンなどを配備する。〔413万円〕

・防災行政無線の放送内容を電話で確認できる自動音声応答サービスを、回線数が実質的に無制限使用できる方式に切り替える。

市役所及び緊急医療救護所（市内4病院）にIP無線機を配備し、確実な通信ができる体制を構築する。〔174万円〕

・災害に備え、乳児用の液体ミルクの家庭備蓄の啓発のため、液体ミルクの試飲会を実施する。〔27万円〕

・水害が差し迫った際に市民が迅速に対応できるよう、浸水想定区域内等に土のうステーションを設置する。〔84万円〕

教育

59億3,700万円

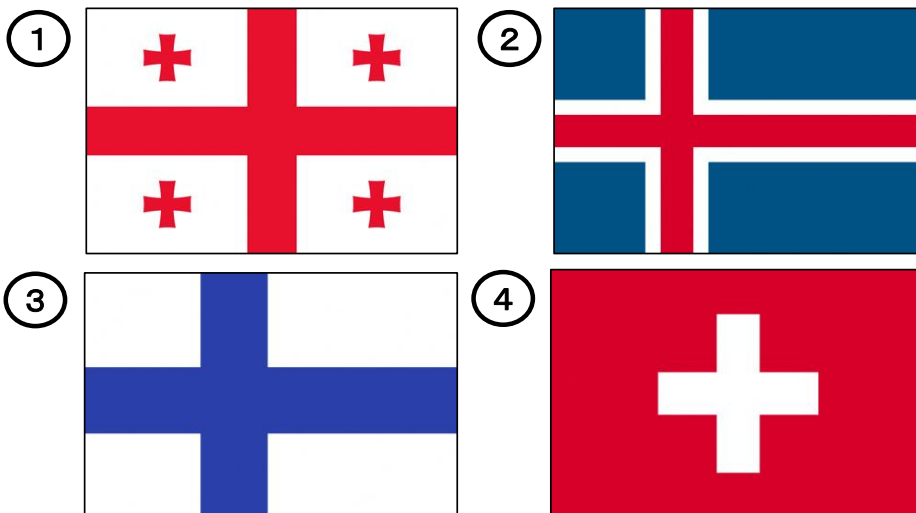
- ・ 関戸・永山図書館にICタグ関連機器を導入し、10月から運用を開始する。これにより、貸出・返却等を自動化し、利用者サービスの向上と業務効率化を図る。〔8,747万円〕
- ・ 不登校児童・生徒への教育機会確保に向け、適応教室にeラーニングを導入する。〔131万円〕
- ・ 中央図書館の建設工事（継続費：令和2～4年度）と、整備に伴い伐採する多摩中央公園の樹木を有効的に活用し、健全な森林整備の学びを深めるため、体験型ワークショップを行う。〔8億3,182万円〕

その他

- ・ さらなる知名度向上のため、市内外に向けて継続的に地域・観光資源などを積極的に発信すると同時に、市全体のポジティブなイメージを雑誌・インターネット広告を活用してアピールする。また、市の認知度や魅力度の現状を客観的データで継続的・定期的に把握しシティセールス戦略の更新を検討するためのインターネット調査を行う。〔358万円〕
- ・ 令和3年度の市制施行50周年に向け、市民や関係団体等と連携し、多摩市民の物語を紹介する「映像で綴る50の物語」の作成、グッズ作成、イベント出展等を行う。〔662万円〕
- ・ 会議システムを導入し、紙を使わない資料作成や会議の進行に取り組み、会議の効率的運営、事前準備作業の軽減並びに紙の削減を図る。〔236万円〕
- ・ 市役所本庁舎の建て替えに向けて、将来の庁舎のあり方について検討し、「基本構想」を策定する（債務負担：令和2年度～3年度）。〔令和3年度1,100万円〕
- ・ 市税滞納者に対して、自動音声電話催告及びSMS（ショート・メッセージ・サービス）催告を実施する。〔350万円〕

各項目の合計金額は、一般会計の事業費をもとに作成しています。

多摩市は、アイスランド共和国のホストタウン！！
アイスランド共和国の国旗はどれかわかるかな？



㊦: 風景

2 【第五次多摩市総合計画第3期基本計画の3つの重点課題に対する取組】

令和2年度は、第五次多摩市総合計画第3期基本計画の2年目となります。基本計画の基盤となる考え方である「健幸まちづくりのさらなる推進」の具体的な取組をはじめ、基本構想に定めた「目指すまちの姿」の実現に向け、各分野の政策・施策に取り組みます。

また、持続可能な行財政運営の確立に向けた取組を推進するとともに、今後数年間はまちの姿が大きく変わっていくことが想定されることから、未来への投資として新たな時代に向けた価値の創造を図ります。

▲令和2年度に取り組む「3つの重点課題」に対する取組の具体例の一部を紹介します▼

① 超高齢社会への挑戦

元氣な高齢者がいきいきと活躍できる地域社会をつくっていくとともに、介護予防やフレイル（虚弱）予防をはじめとした健康づくりに、安心して暮らし続けられる住まいや身近な居場所づくりなど、ソフト・ハード部門にまたがり、健幸を支える環境整備に取り組めます。

★★★こんな取り組みを行います！★★★

- ◎高齢者の口腔機能低下を防止する取組として、口腔機能評価等の歯科健康診査を自己負担なしで実施します
- ◎多摩市版地域医療連携構想について、これまでの成果や多摩市の地域医療などをまとめたリーフレットを作成し、ご当地医療のかかり方を支援します 他

② 若者世代・子育て世代が幸せに暮らせるまちの基盤づくり

子育て環境の整備や教育環境の充実を図り、若者世代・子育て世代にとって魅力あるまちづくりを進めます。また、行政・地域での様々な支援策が充実していることを発信するとともに、子どもたち・若者たちに必要な支援体制を構築していきます。

★★★こんな取り組みを行います！★★★

- ◎待機児童対策として、ニーズの高い駅周辺エリアを中心に認可保育園を整備するなど保育定員の計画的な確保を図ります
- ◎ニュータウン再生の取組として、愛宕、和田、東寺方3丁目、貝取及び豊ヶ丘地区を対象として、まちづくり計画策定に向けた検討をします 他

③ 市民・地域と行政との新たな協働のしくみづくり

これまで地域を支えてきた世代に加え、現役世代を含めた幅広い世代に、地域の支えてとなり、行政に参画してもらえるよう地域を単位とした協働のしくみづくりにより、市民・地域と行政が連携し、大学や企業など様々な地域資源を活用しながら、地域が抱える課題解決を図るしくみをつくります。

★★★こんな取り組みを行います！★★★

- ◎地域自治を推進するためのしくみづくりとして、地域課題を地域で共有するためのモデルエリアを設定して「(仮称)地域懇談会」を実践する取組を始めます
- ◎(仮称)多摩市障がい者差別解消条例を制定に向け、条例の周知を含む差別解消の普及啓発を行います 他

3 「健幸まちづくりのさらなる推進」～令和2年度予算案～

「第五次多摩市総合計画・第3期基本計画」(令和元年6月策定)において、「健幸まちづくりのさらなる推進」を、計画の基盤となる考え方として位置付けました。

令和2年度予算案では、幅広い層の市民に向けて、健幸につながる行動を促すため、東京 2020 オリンピック・パラリンピック競技大会を契機とした機運醸成や、自然と歩きたくなる環境整備、地域のつながりの支援などに取り組みます。また、保育定員の増員や高齢者の見守り・相談・予防の充実など、地域で安心して子育てし、暮らし続けられる環境整備を進めます。

「楽しい！面白い！」をきっかけに、非日常の感動と出会い、健幸に！

● 東京 2020 オリンピック・パラリンピック 【東京オリンピック・パラリンピック推進事業】

自然と歩きたくなる・出歩きやすいしかけづくりで、健幸に！

● ウォーカブル推進都市の取り組み

- ・ パルテノン大通りの賑わい創出に向けた社会実験 【多摩センター地区活性化事業】
- ・ 移動しやすい交通網の整備に向けた実証実験 【地域密着型交通運行事業】
- ・ ウォーキングコースを活用した街歩きの促進

【健康づくり地域活動推進事業、道路維持事業、公園管理経費】

※ ウォーカブル推進都市とは

令和元年 7 月、国土交通省は、まち歩きを促す仕掛け等に加え、開かれた空間の設置など多様な人々の出会い・交流を通じてイノベーションの創出につなげる「居心地が良く歩きたくなるまちなか」を目指す「ウォーカブル推進都市」となる自治体を募集。多摩市も、その趣旨に賛同し、全国の都市とともに取り組みを推進。

みんなで集い、健幸に！

● 人と人とのつながりを創る拠点の整備

- ・ 旧北貝取小学校跡地における市民活動・交流の場等の整備 【旧北貝取小学校跡地整備事業】
- ・ 中央図書館の整備 【多摩市立中央図書館整備事業】

働き方改革で、まちぐるみで健幸に！

● (仮称)健幸！ワーク宣言 【健幸まちづくり推進事業】

子育てしやすい環境整備で、健幸に！

● さらなる待機児童対策と切れ目のない子育て支援

- ・ 保育定員の充実 【民間保育所補助事業】
- ・ 学童クラブの整備 【児童館・学童クラブ管理経費】
- ・ (仮称)多摩市版子育て世代包括支援センター事業の開始 【母子保健事業】

身近な地域で気づき、見守り、支えあい、健幸へ！





● 年齢や障害の有無にかかわらず、誰もが暮らしやすいまちづくり

- ・ 北部地域包括支援センターの第二拠点整備 【介護サービス基盤整備事業、高齢者見守り相談窓口事業】
- ・ もの忘れ相談事業の実施 【もの忘れ相談事業】
- ・ 75歳以上の方の歯科健診 【後期高齢者医療保健事業】
- ・ (仮称)障がい者差別解消条例の制定 【心身障がい者支援事業】

4 市民1人当たりのサービスは？ ～ひとり39万7千円 その内容～

一般会計予算590億7,000万円を令和2年1月1日現在の住民基本台帳の人口148,823人で割りました。平均すると、市民1人当たり39万7千円のサービスを受けていることになります。その内訳を示します。

()内は前年度の金額です

<p>民生費 (高齢者・障がい者・児童福祉、生活保護のために)</p>  <p>19万2千円 (18万5千円) ↗</p>	<p>教育費 (学校教育・生涯学習のために)</p>  <p>6万3千円 (6万7千円) ↘</p>
<p>総務費 (コミュニティセンターの管理運営、交通対策、情報推進のために)</p>  <p>5万6千円 (4万3千円) ↗</p>	<p>衛生費 (ごみの処理、環境保全、健康を守るために)</p>  <p>2万8千円 (3万円) ↘</p>
<p>土木費 (道路・公園整備のために)</p>  <p>2万4千円 (2万4千円) →</p>	<p>消防費 (消防・防災のために)</p>  <p>1万5千円 (1万3千円) ↗</p>
<p>公債費 (市の借入金の返済のために)</p>  <p>1万4千円 (1万3千円) ↗</p>	<p>その他 (議会活動や商業の振興などのために)</p>  <p>5千円 (5千円) →</p>

※ 教育、消防など、使う目的ごとの分け方を「目的別」、「款(かん)別」などと言います。

⇒詳しくは、32ページ「款別予算額【歳出】」、45ページ「新規・レベルアップや普通建設事業などの概要」を参照してください。

5 市民1人当たりの税金の使い道は？ ～ひとり19万4千円 その使い道～

市税（予算額）288億5,958万円を令和2年1月1日現在の住民基本台帳の人口148,823人で割りました。平均すると、赤ちゃんも含めて市民1人当たり19万4千円の市税（法人市民税等も含む）を払っていることとなります。その使い道を示します。

（ ）内は前年度の金額です

<p>民生費 (高齢者・障がい者・児童福祉、生活保護のために)</p>  <p>1万1千円 (1万3千円) ↘</p>	<p>教育費 (学校教育・生涯学習のために)</p>  <p>3万3千円 (3万4千円) ↘</p>
<p>総務費 (コミュニティセンターの管理運営、交通対策、情報推進のために)</p>  <p>3万3千円 (3万2千円) ↗</p>	<p>衛生費 (ごみの処理、環境保全、健康を守るために)</p>  <p>1万8千円 (1万7千円) ↗</p>
<p>土木費 (道路・公園整備のために)</p>  <p>1万6千円 (1万5千円) ↗</p>	<p>消防費 (消防・防災のために)</p>  <p>8千円 (8千円) →</p>
<p>公債費 (市の借入金の返済のために)</p>  <p>1万1千円 (1万円) ↗</p>	<p>その他 (議会活動や商業の振興などのために)</p>  <p>4千円 (4千円) →</p>

民生費は、左のページのサービスの料金では全体の50%くらいだけど、このページの税金では40%くらいだね。



それは、国や都からのお金の割合が高いからです。一方、総務費や公債費などはこの税金のページの方が割合が高く、多摩市が単独で多く負担をしているものです。

〔コラム〕 寄附金による市民協働

多摩市では、「多摩市を応援したい!」という想いを「ふるさとTAMA応援寄附金」という形で広く受け付けています。平成29年6月からふるさと納税総合サイト「ふるさとチョイス」からも寄附ができるようになりました。

令和元年度も多くの皆様から寄附をいただき、その合計額は14,687,000円（令和元年12月末時点）となりました。子どもたちのワクチン接種、癌検診の充実は令和元年度、そのほかの寄附金は令和2年度以降の事業で活用させていただきます。

単位：円

令和元年(4月から12月)に頂いた寄附金の金額及び使途

寄附種類	金額	使途
一般寄附金	5,310,000	表1参照
指定寄附金	382,000	歩きやすい街づくりのための設備（ベンチ等）の充実
	150,000	市内文化財めぐりコースの環境整備
	2,840,000	地域子育て支援拠点の充実
	660,000	多摩市立図書館の児童向け図書への充実
	970,000	公園遊具のリニューアル
	300,000	小・中学校の音楽関係の備品（楽器等）の充実
	230,000	来街につながる地域の活性化や観光振興
	335,000	地域スポーツ環境の充実
	1,170,000	多摩センター駅周辺地区の魅力アップにつながる環境整備
	195,000	地域防災活動の支援
	1,200,000	癌検診の充実
	785,000	子どもたちのワクチン接種
	160,000	特別支援学級への支援（児童手当寄附分）
指定寄附金 計	9,377,000	
合計	14,687,000	

単位：円

表1 一般寄附金の使途	金額
地域や社会での学び、健康の推進、安全安心な環境の向上、まちの魅力づくり、国際交流、市民参画、市民協働等互いに支え合うまちをつくるための事業	45,000
高齢者、障がい者、児童等の福祉に関する事業	820,000
豊かな緑を大切に、将来にわたって残すための事業	725,000
公共建築物、道路、橋りょう等の施設を整備し、適切な状態に保つための事業	380,000
指定なし	3,340,000
合計	5,310,000

～ 寄附の活用例 ～

多摩市立図書館の児童向け図書の充実



児童図書コーナー等で活用されます
(写真はイメージ)
【平成30年度の寄附活用例】

小・中学校の音楽関係の備品(楽器等)の充実



小学校で使うドラムセット
【平成30年度の寄附活用例】

地域防災活動の支援



マンホールトイレの購入
(令和2年度活用予定)

※マンホールトイレは下水道管路にあるマンホールの上に簡易な便座やパネルを設け、災害時において迅速にトイレ機能を確認するものです。

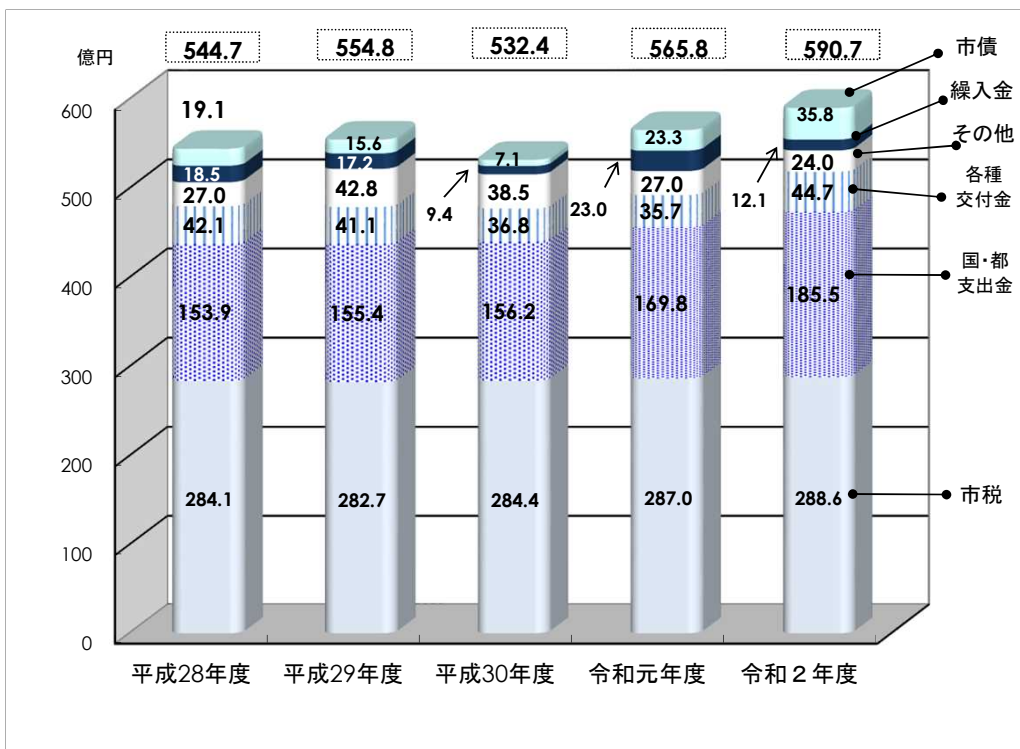
Ⅱ 使う予算の資金はどこからくるの（歳入）

収入の状況

前年度と比較して4.4%、24億9,000万円の増となりました。

一般財源（使途の特定されない財源）は、令和元年度予算と比べて約5.9億円の増となっています。財政調整基金からの取り崩しなど繰入金の減（47.2%、10億8,407万円の減）などの減要因がある一方、地方消費税交付金が暦日要因や消費税率引き上げにより13ヶ月分の交付になること等による各種交付金の増（25.2%、8億9,888万円の増）や市税（0.6%、1億6,274万円の増）の増などの増要因が上回ったためです。なお、市税の増は主に固定資産税の増加によるものです。

■歳入構成の変化



各種交付金＝ 地方譲与税＋利子割交付金＋配当割交付金＋株式等譲渡所得割交付金＋地方消費税交付金
 ＋ゴルフ場利用税交付金＋自動車取得税交付金（令和元年度まで）＋環境性能割交付金（令和元年度から）
 ＋国有提供施設等所在市町村助成交付金＋地方特例交付金＋地方交付税＋交通安全対策特別交付金＋法人事業税交付金（令和2年度のみ）

その他＝ 分担金及び負担金＋使用料及び手数料＋財産収入＋寄附金＋繰越金＋諸収入

市税が増えてよかったね。



令和2年度は増える見込みだけど、今後も増えていくかというそうともいえないんですよ...

令和2年度は税金を納める義務のある人は増えたんだけど、ながい目でみると少子化・高齢化の影響で減っていくと思うんだ。

また、国が制度を変えたから市の法人税収入も減ってしまう。まだまだ安心とはいえないんだ。

だから、市民のみなさんが納めた税金を大事につかっていくのはもちろん、今後もおかねのつかい方（歳出の工夫）を見直すことや、新たなおかねの確保（歳入面での工夫）に厳しくとりまなきゃいけないんだ。

※ 市に入る収入について、年度単位でみる場合は「歳入」と表現しています。
 ⇒詳しくは、24ページ「款別予算額【歳入】」を参照してください。

Ⅲ 予算の移り変わりと多摩市の状況

1 貯金の状況

基金は、特定の目的のために準備された資金のことです。
目的に応じて積み立てておき、必要になったら取り崩してそれぞれの目的のために使われます。

▼貯金の状況

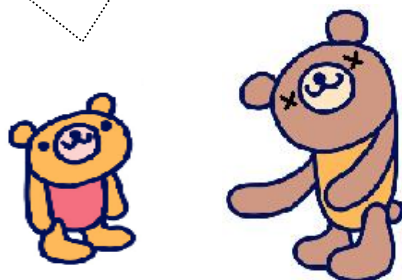
区 分	平成30年度末 残 高	令和元年度末 残高見込み ①	令和2年度 取崩し ②	令和2年度 積立金 ③	令和2年度末 残高見込み ①－②＋③
財政調整基金	40億300万円	35億5,700万円	8億9,000万円	100万円	26億6,800万円
特定目的基金	151億4,400万円	150億1,800万円	3億2,300万円	1億8,400万円	148億7,900万円
合 計	191億4,700万円	185億7,500万円	12億1,300万円	1億8,500万円	175億4,700万円

※令和元年度末及び令和2年度末の残高見込みの金額は、令和2年2月現在の数値です。

※10万円単位で四捨五入しています。合計額と区分ごとの合計は一致しないことがあります。

- ・ 財政調整基金 年度間の財源の不均衡の調整や災害復旧などにあてるための基金です。経済情勢の変動や突発的な事項等により財源が著しく不足する場合に、貯金をおろし不足を補うことを目的とする基金で、いわば普通預金のようなものです。
- ・ 特定目的基金 庁舎増改築基金、公共建築物等整備保全基金、みどりの基金、福祉基金など事業実施に向けた計画的な積み立てや、継続的な事業を将来にわたり安定的に進めるための基金です。

多摩市の貯金はほかの市と比べたら
どうなの？



平成30年度決算時点の貯金残高(市民1人当たり)は、都内
26市で多い方から4番目の128,723円です。

市の予算の約半分が福祉関係経費(民生費)であり、令和2
年度も扶助費や繰出金が増加しています。

「財政調整基金」など、過去に貯めておいた貯金を取り崩して、
行政が担うべき基本的な業務やセーフティーネットをしっかりと
維持するために貯金を活用しています。
貯金をしっかりと貯めておくことも、市民の皆さんにとって大事
なことなのです。

【コラム】財政調整基金と決算剰余金

財政調整基金は年度間の財源を調整し、長期的視点から財政の健全な運営を図ることを目的としている基金です。本市では標準財政規模(地方税、普通交付税、地方譲与税などの一般財源の財政規模を示すもの)の1割程度を確保することを目標としています。令和元年度の残高見込みは、3,557,195千円で前年に引き続き前述の目標額(標準財政規模30,994,502千円の1割)を達成する見込みです。

地方財政法では、決算剰余金を生じたときその2分の1以上を基金に積み立てるものと規定されており、積み立て先の基金はその性質上、財政調整基金とすることが一般的です。

※決算剰余金: 決算時に、歳入歳出差引額から翌年度に繰り越すべき財源を除いた実質収支の黒字額のこと。一般的には概ね標準財政規模の3%から5%程度が適当であるとされています。平成30年度決算額でみると、実質収支 1,021,352千円は、標準財政規模(29,837,676千円)比で3.4%となりました。

⇒多摩市の基金について、詳しくは43ページ「基金の状況」を参照してください。

2 借金と分割払いの現在高

「地方債」は市の借金、「債務負担行為」は分割払いに例えられます。
 いったん借りてから返すか、先々に支払う約束をするか、の違いはありますが、どちらも「将来の負担」という意味では同じといえます。

地方債（借金）

学校、公園など、公共施設やインフラの整備の際などに発行します。
 大規模な建設事業が多かった過去の借入分（設定分）の償還が進み、残高総額が減り続けていきましたが、近年は大型施設の建設や改修工事が増えたため、令和2年度は増加しており、今後は増加傾向に向かいます。

債務負担行為（分割払い）

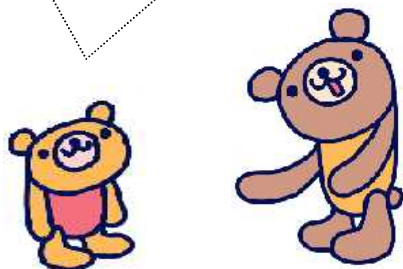
債務負担行為は、契約に基づき、複数年度に渡る支出が予定されるときに設定します。
 学校などの施設や土地の支払いを分割で行うとき、また、機器のリースなど何年か使用するものをその期間中に分割して支払う場合などに行います。

▼借金と分割払いの状況

地方債 (借金)	平成30年度末 現在高	令和元年度末 現在高見込額	令和2年度増減見込額		令和2年度末 現在高見込額
			新規借入見込額 (増)	元金償還見込額 (減)	
	140億2,500万円	143億4,600万円	35億7,800万円	19億3,400万円	159億9,000万円
債務負担行為 (分割払い)	平成30年度末 現在高	令和元年度末 現在高見込額	令和2年度増減見込額		令和2年度末 現在高見込額
			設定見込額	支払見込額	
	121億9,700万円	113億2,300万円	4億7,100万円	48億8,500万円	69億900万円
合計	262億2,200万円	256億6,900万円	40億4,900万円	68億1,900万円	228億9,900万円

※10万円単位で四捨五入しています。令和元年度末現在高見込額と令和2年度増減見込額の合計が令和2年度末現在高見込額に一致しないことがあります。

借金なんて、ぜんぜんない方がいいよね！



うーん、「ぜんぜんない方がいい」というと、そうもいえないんですよ。例えば、学校を建てるのが必要となった時、お金を貯めてから建てるですと、すぐにはできないよね。また、今建てた学校はこれから先の、こぐま君たちの子どももきっと使いますよね。そういう、必要で大切な施設には、今のおとなたちも、君たちがおとなになったときも、みんなでお金を出し合うべきだという考え方があります。

これを難しい言葉で、「世代間の公平負担」と言い、今年もそういった施設の大きがかりな改修等に必要な分の借金をしています。でも、今のおとなたちが借金をしすぎて、こぐま君たちがおとなになったとき、借金を返すのでいっぱいいっぱいになってしまったら、不公平ですよ。

借金が増えすぎないように気をつけているんですよ。

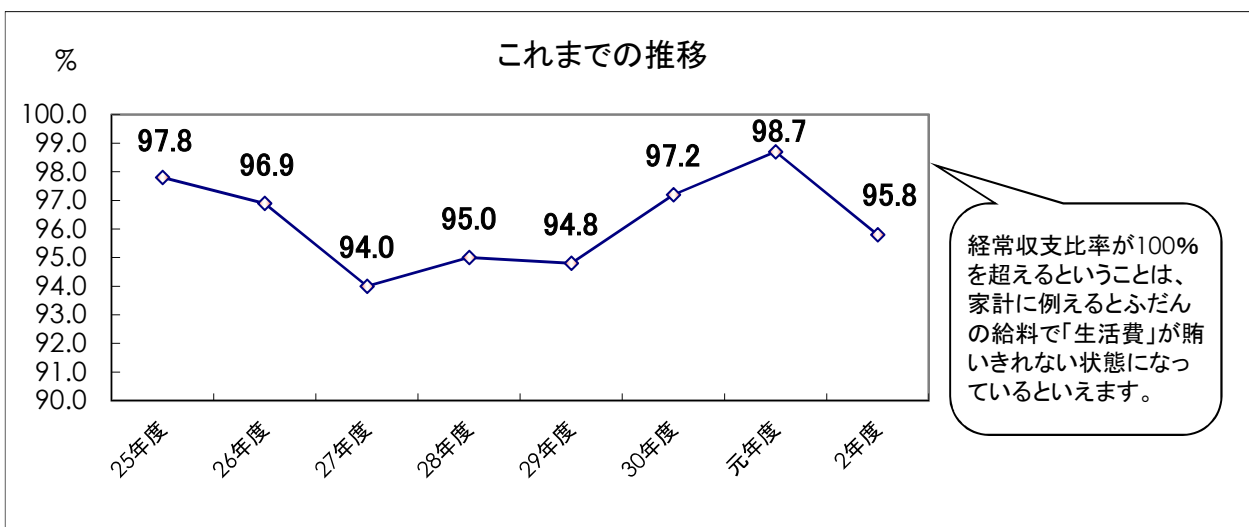
⇒多摩市の地方債、債務負担行為について、詳しくは44ページ「地方債・債務負担行為の状況」を参照してください。

3 財政の硬直化 ～ケイジョウシュウシヒリツって？～

経常収支比率は95.8%、財政は硬直的な状態に

市の予算の中で、経常的な収入に対する経常経費（職員の人件費、生活保護費のような扶助費、借入金を計画的に返済する公債費、児童館やコミュニティセンターなどの管理運営費、道路や公園などの維持費など、毎年継続して固定的に支出される経費）の割合を、「経常収支比率（ケイジョウシュウシヒリツ）」と呼びます。自治体の財政状況を示す「財政指標」のひとつで、財政構造の弾力性を計ることができます。

経常収支比率は指数が低いほど、政策的な経費に市税などを使うことができ、新たな財政需要に対応できる幅が広がります。逆に、この割合が高ければ、時代の変化などの新しい状況に弾力的に対応できません。家計に例えるなら「住宅ローンや光熱水費で身動きができない」状態です。このような自治体を「財政が硬直化している」自治体と呼びます。



令和2年度は下がっているね。



そうですねよ。市税等の歳入が増えたことが要因です。しかし、下がったとは言え、まだまだ財政が硬直化している状況は変わりません。

これから少子化・高齢化が進む中で、必要とされる費用は増えていきますが、これを賄う市税はなかなか増えていきません。そのためには、効率的なお金の使い方が大切だと考えています。皆で出来ることを頑張っていきましょう。学校や公園なども大切に使ってくださいね。

⇒多摩市の経常収支比率について、詳しくは42ページ「経常収支比率」を参照してください。

4 収入に占める借入金の割合 ～コウサイヒフタンヒリツって?～

市の予算の一般財源に占める公債費（借入金の返済）の割合を公債費負担比率（コウサイヒフタンヒリツ）と呼びます。自治体の財政状況を示す「財政指標」のひとつです。

公債費負担比率

令和2年度の公債費負担比率は5.4%で、前年度から0.1ポイント増加しました。

公債費負担比率は、一般的に15%を超えると黄信号、20%を超えると赤信号とされています。

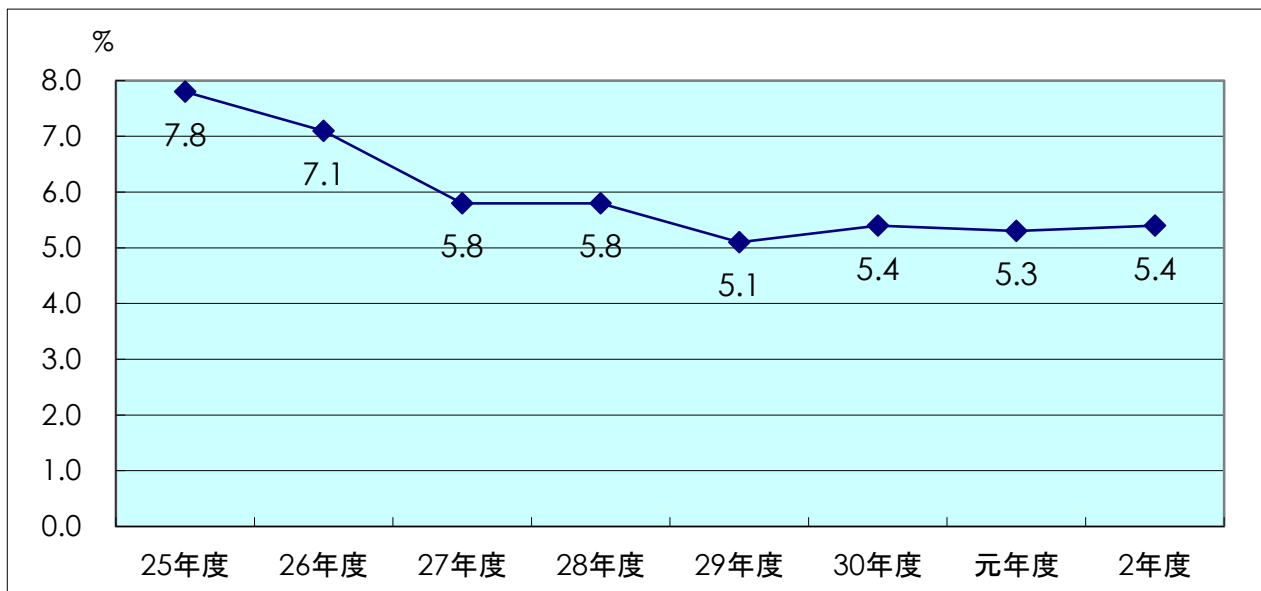
下表のとおり、ここ数年ほぼ横ばいです。これは20年以上前に借入れた大規模な施設建設のための借金が減っているものの、近年の学校や道路・橋りょうなどの公共施設やインフラの整備で借金をしているためです。令和2年度は、バルテノン多摩や中央図書館などの大規模な工事が開始するため、今後は借入や返済が増えることにより公債費負担比率は上昇傾向となりますが、全国的に見ても低い水準で推移すると見込んでいます。

【計算式】

$$\text{公債費負担比率} = \frac{\text{公債費充当一般財源 (1,902,778千円)}}{\text{一般財源総額 (35,243,518千円)}} \times 100$$

5.4%

▼公債費負担比率の推移



最近はあまり変わらないね。



そうですね。
こぐま君たちが生まれる前、多摩ニュータウンの整備がまだ続いている頃、お金をたくさん借りたんですよ。少しずつ返してきて、その分はかなり減ってきているんです。

でも、今度は古くなってきた建物や道路・橋などを改修するためのお金が必要になってきたんですよ。

これからは、この数字が大きくなりすぎないように計画的にお金を借りることが大事になってきます。

5 社会保障関係予算～市民の生活を保障する予算は～

主な社会保障にかかる経費は、下表のとおりです。

介護保険・後期高齢者医療の各特別会計への繰出金の増に伴い高齢者福祉が増加、幼児教育・保育の無償化の影響等により児童福祉も増加しており、全体として増加となっております。

限りある財源の中で市民の暮らしを守るため、真に必要とされるサービスを確実に提供するとともに、健康づくりや就労支援などに取り組み、今後とも社会保障制度が適正に維持できるよう努めていきます。新規・レベルアップや普通建設事業などの概要については、45ページ以降をご覧ください。

区分		令和2年度	令和元年度	増減額	増減率 (%)
特別会計への繰出金	国民健康保険特別会計	17億5,700万円	18億6,300万円	△1億600万円	△5.7
	介護保険特別会計*	(18億1,800万円)	(16億6,700万円)	(1億5,100万円)	9.1
	後期高齢者医療特別会計*	(17億8,200万円)	(17億4,100万円)	(4,100万円)	2.4
障がい者福祉に係る予算		49億8,300万円	50億3,300万円	△5,000万円	△1.0
高齢者福祉に係る予算		38億4,900万円	36億2,700万円	2億2,200万円	6.1
児童福祉に係る予算		112億7,000万円	107億1,200万円	5億5,800万円	5.2
生活保護に係る予算		47億1,600万円	47億9,300万円	△7,700万円	△1.6
合計		265億7,500万円	260億2,800万円	5億4,700万円	2.1

※普通建設事業費を除く

※特別会計への繰出金で、()内に示している介護保険・後期高齢者医療の各特別会計への繰出金の予算額は、高齢者福祉に係る予算に含めています。

※区分ごとに10万円単位で四捨五入しています。合計額は四捨五入した区分ごとの積み上げです。

国民健康保険特別会計への繰出金

被保険者数が引き続き減少しているため、保険給付費が減少し、それに伴い一般会計からの繰出金も減少しています。

介護保険特別会計への繰出金

高齢化の進行により要支援・要介護認定者が増加することで、保険給付費の増加が見込まれているほか、公費による低所得者の保険料軽減の更なる拡大の影響から繰出金が増加しています。

後期高齢者医療特別会計への繰出金

高齢化の進行により、被保険者数及び医療費が増えることから、東京都後期高齢者医療広域連合への負担金が増加し、繰出金が増加しています。

障がい者福祉に係る予算

令和2年度予算では、想定していた伸び率を下回ったため減少しているものの、決算見込みで比較すると、日常生活の介護やグループホーム、就労機会の提供や能力訓練にかかる経費のほか、就学後の児童を対象とした放課後等デイサービスの利用増加などにより引き続き増加しています。

高齢者福祉に係る予算

介護保険特別会計、後期高齢者医療特別会計への繰出金が増加しています。介護予防の推進など介護給付費の抑制に取り組むほか、認知症への対策、健康づくりへの取り組み充実などなど引き続き「健康まちづくり」の取り組みを推進していきます。

児童福祉に係る予算

令和元年10月から開始した幼児教育・保育の無償化の影響が通年化したことに伴い事業費が増加しています。また、多摩市立貝取保育園の解体工事や民間保育所の新設に伴う運営費補助の増なども増要因となっています。

生活保護に係る予算

令和元年度に行った生活保護システムの入替えが皆減となったことで生活保護費は減少となっています。なお、被保護世帯数は近年ほぼ横ばいとなっています。